

神戸市にお住まいの皆様へ

神戸市健康局政策課長

「高齢のICU入室患者のICU退室後の要介護度変化の実態」の研究実施について

神戸市は、市民の皆さまの健康データを活用し、保健事業の評価を行うため、神戸市が保有する医療・介護データを連結し、分析しています。

この度、京都大学医学部附属病院が実施する、高齢の集中治療室（ICU）入室患者のICU退室後の要介護度変化の実態を検証する下記の研究に協力しますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

1. 研究課題

高齢のICU入室患者のICU退室後の要介護度変化の実態

2. 研究目的

近年、集中治療の医療技術の発展や診療ガイドラインの普及により、集中治療室（ICU）に入室した患者の生存率は向上しています。一方で、ICUに長期間入室した患者は、「集中治療後症候群（PICS）（ICUへの入室により生じる身体機能、認知機能、精神の障害）」により、長期的に日常生活活動（ADL）や生活の質（QOL）が著しく低下することがあります。特に、高齢者においては、免疫機能や栄養状態の悪化が、その後の長期的な経過に大きく影響しており、ICUに入室した高齢者のQOLの改善を目指した長期的な視点での治療が重要となります。しかしながら、現在のところ、ICU退室後に要介護度がどの程度悪化したのか、その詳細は明らかにされていません。

そこで本研究では、ICUに入室した後の要介護度の悪化度合いを、入室していない入院患者と比較し、その要因等の実態を明らかにします。

また、ICUに入室する高齢者について、ICU内で行われた医療行為が、その後における要介護度の変化に与える影響等を検証します。

3. 研究対象

2018（平成30）年4月1日から2023（令和5）年3月31日までの期間において、入院歴のある65歳以上（各年度4月1日時点で64歳以上）の方

4. 研究内容

研究対象者となる65歳以上の入院患者のうち、ICUへ入室した患者とICUに入室しなかった患者を比較し、それぞれの特徴（年齢、性別、BMI、傷病名、ICU入室理由、治療内容等）を分析します。また、これらの特徴と、その後の経過（要介護度の変化や、入院・ICU入室日数、生存状況

等)との関連性を分析します。

ICUへ入室した患者については、入室理由ごと(予定手術・緊急手術・非手術)に臓器不全の長期化の有無を比較するとともに、予後(要介護度変化・死亡・生存日数)も比較します。

さらに、上記の分析をCOVID-19患者についても行います。また、元々の介護度が高いと考えられる患者(大腿骨頸部骨折で手術を受けられるなど)について、ICU入室の有無や背景因子などから要介護悪化のリスク因子を探索します。

5. 研究に用いる情報の種類

研究に用いるデータは、通常の保健事業で収集される以下の既存情報とします。(但し、研究に必要最低限な情報に限定します。)

- ・診療報酬明細書(医療レセプト)データ
(患者基礎情報、傷病情報、医薬品情報、診療行為情報、入院情報、併存疾患情報等)
- ・介護給付費明細書(介護レセプト)データ(要介護状態、利用サービス等)
- ・介護認定調査票(日常生活自立度、ADL、要介護度、判定日等)

6. 個人情報の保護

個人情報漏洩を防ぐため、氏名や住所など個人を直接特定できる情報を削除したデータを京都大学医学部附属病院に提供し、統計解析が行われます。本研究の実施過程及びその結果の公表(学会発表や論文等)の際には、住民の皆さんを特定できる情報は一切含まれません。

7. 予定研究期間

2024(令和6)年4月(倫理審査承認日)から2028(令和10)年3月31日

8. 情報の利用・提供を開始する予定日

2024(令和6)年5月上旬

9. 研究実施体制

・研究実施機関

研究責任者:	京都大学医学部附属病院	手術部	助教	武田	親宗
共同研究者:	京都大学医学部附属病院	麻酔科	教授	江木	盛時
	京都大学医学部附属病院	手術部	准教授	溝田	敏幸
	京都大学医学部附属病院	集中治療部	講師	甲斐	慎一
	京都大学医学部附属病院	社会健康医学系専攻	教授	川上	浩司
	京都大学医学部附属病院	社会健康医学系専攻	客員研究員	田中	佐智子
	京都大学医学部附属病院	社会健康医学系専攻	大学院生	狩野	謙一

・情報の提供のみを行う機関

機関の長: 神戸市長 久元 喜造

情報管理責任者：神戸市健康局政策課長 渡辺 元樹

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等ありましたら下記の連絡先まで、お問い合わせください。

また、情報が本研究に用いられることについて、ご了承いただけない場合には研究対象から除外することができますので、下記の連絡先までご連絡ください。研究対象から除外する場合でも、市の医療・介護・保健サービスを受けるにあたって不利益が生じることはありません。ただし、京都大学医学部附属病院においてのデータ分析作業が開始後は、技術上、研究対象からの除外に応じられないことがあります。

(研究内容について) 京都大学医学部附属病院手術部 助教
研究責任者 武田 親宗
〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 54
TEL: 075-751-3111 (PHS 2819) FAX: 075-752-3259
E-mail: chikashi@kuhp.kyoto-u.ac.jp

(データ提供について) 神戸市健康局政策課
〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1
Tel : 078-322-5431
E-mail: hcd@city.kobe.lg.jp